

令和5年度学校自己評価システムシート(県立宮代高等学校)

目指す学校像	生徒一人ひとりの「よさ」を伸ばし、次代をたくましく生き抜くための学力と規範意識を身に付けた人間を育てる
--------	---

重点目標	1 生徒一人ひとりに見合った学習環境を提供し、基礎学力を確実に向上させ、自ら考え、判断し、表現する力につなげる 2 生徒一人ひとりの資質を把握し、個々に目標・目的を持たせ、規律ある学校生活を送らせる 3 積極的な広報活動を行うとともに、保護者・地域・関係諸機関との連携を強化する
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	6名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	9名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価					学校関係者評価			
年度目標					年度評価(2月1日現在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	
1	<p>【現状】授業に主体的に参加し理解している生徒が増加し、進路実現に向けて目的意識を持って、意欲的に学校生活を送っている。</p> <p>【課題】基礎学力の振り返りやICT活用、AL等により学習活動の充実を図っているが、知識・技能の定着には繰り返しが必要であり、さらに思考・判断・表現力に結び付ける実践はまだ不十分である。また、目標を高く持ち資格検定を計画的に受験する生徒を増やすことが課題である。一人一台端末導入に合わせ授業を工夫する。</p>	<p>○基礎学力を定着させる授業実践と授業研究を行い教員の指導力を向上させる。</p> <p>○朝学習、通常補習や長期休業補習の講座へ、参加者を増やし内容を充実する。</p> <p>○多様な進路希望の実現に向けて、一人ひとりに適した進路指導を行い、資格取得に向け目標を設定させ計画的な学習を支援する。</p>	<p>①ICTを活用してわかりやすい教材を作成、実習科目では理解を助ける実験・観察を工夫する。また、AL授業等増やし、生徒が自ら取り組めるよう工夫する。</p> <p>②生徒が希望する科目の補習は必要な時期に適切に実施する。また、学習サポーターの有効活用で生徒の基礎力向上支援に繋げる。</p> <p>③年間を見通し、早い時期から進路指導を行う。また、年間で資格テスト受験率一人1つ以上を目指し普段の指導を一層徹底する。</p>	<p>①「授業が理解できているか」という生徒の割合90%以上。</p> <p>②補習へ参加する生徒の人数を昨年度よりも増加させる。また、欠点を取る生徒は減少したか。</p> <p>③生徒の個々の受験の割合30%以上。また、合格者数を上げる。</p>	<p>①3学年とも学校全体の成績を伸ばす取組が見られ、特に3年生は入学時より全体の力が伸びている。「授業に真剣に取り組んだ」生徒の割合は96.3%、昨年度96.1%より微増。「わかりやすい授業」は数学が27.8%、外国語・地歴公民が17.9%、と苦手意識の強い科目が理解できている。国語と理科も昨年度より理解度が高くなった。</p> <p>②各学年とも英語を中心に補習を実施し、上位者を育てている。勉強マラソンへの参加が回を重ねる度に増加した。調査後のアンケートでは学習の確実な振り返り等が見られる。</p> <p>③2年生では、各種検定や模試の受験者が増加しており、進学に向けた集団を育てられている。</p>	B	<p>①基礎力テストを活用し生徒の学力を把握し、学力向上の目標値を掲げて伸ばそうと意識し指導に臨む教職員を育てる。</p> <p>②知識の抜け落ちがないよう、基礎固めの補習を実施し、学習の雰囲気作りを行う。進学・公務員希望の生徒について、実力増進講座の受講者を増やし、学習意欲を高める。また、社会体験学習、授業公開等、効果的な取組を計画実施する。</p> <p>③進路実現に向けて、基礎学力の定着に努め小論文や面接に対応できるよう幅広い知識を身に付けさせる。</p>	<p>・教員が個に応じた指導をきめ細かく行い、学習指導、進路指導、部活動、保護者理解等を実践していることは頭が下がる。登下校時の生徒は挨拶ができ、下を向いて歩いている生徒はなく、落ち着いていて好印象である。指導の成果だろう。</p> <p>・具体的方策を掲げ、生徒一人一人を大切に取組んでいることがよくわかるので、このまま継続してください。</p> <p>・「頑張る」ことを必要とする体験を増やすとよい。中でも仲間とともに協力し合って取り組む活動を入れ、『協働』の精神を育成してください。</p> <p>・中学生と高校生の違いをあらためて認識し、高校生として自覚し行動することが大切だ。立場を理解し、自ら学び自ら行動し、未来につなげることが求められている。</p>
2	<p>【現状】生徒の多くは校則を遵守し落ち着いた生活を送っているが、未だ自己管理を徹底することができない生徒もみられる。</p> <p>【課題】生徒一人ひとりの資質を認め人権に配慮し、個に応じた指導と足並みを揃えた生徒指導を行う。春日部特別支援学校宮代分校との合同行事をさらに活発にし、本校生徒及び保護者に共生社会に向けたインクルーシブ教育への理解を深めていく。</p>	<p>○家庭と連携し、学年・生徒指導等情報を共有して、個の特性に応じたきめ細かな指導を徹底する。</p> <p>○充実した学校生活を目指し、魅力ある学校づくりを実践する。また、カウンセリングを充実させる。</p> <p>○道徳教育・インクルーシブ教育を充実させ、共生できる学校づくりを行う。</p>	<p>①巡回指導や個別面談等で生徒の様子を把握し、学年などで共有する。また、遅刻者へは遅刻カードを活用し指導を充実させる。</p> <p>②キャリア教育、部活、教育相談等を充実させ、学校生活へ意識を向けさせる。</p> <p>③道徳教育推進モデル校指定事業として、講演会や分校と交流行事を継続的にを行い、思いやりや優しさを育成する。</p>	<p>①遅刻・欠席・早退者、生徒指導の件数を減少させる。</p> <p>②部活動への参加者を増やす。また、教育相談は有効であったか。</p> <p>③道徳教育・インクルーシブ教育を充実させ、講演会や分校との連携事業を、定期的実施する。</p>	<p>①概ねの生徒は遅刻・早退・欠席が少なく良好であるが、特定の生徒については増加傾向である。教職員は共通認識を持って指導に当たれた。</p> <p>②部活動の加入率は80%を超え、途中で退部する生徒の数も少ない。さらに、文武両道を実現している生徒も多い。</p> <p>③3年間を見据えた進路計画を立て、各学年で実施されている進路行事は工夫して実践でき、自身の人間性向上に役立てようとする姿勢につながっている。道徳教育は全校統一して計画的に実施、3学年が交流し分校も交えグループ活動等も行われた。様々な分野の講師を招き、充実した講演会を実施し、視野を広げることができた。</p>	A	<p>①時間を守る意識をSHRや集会で呼びかけ、生活習慣を確立し落ち着いた学校生活を送れるよう支援していく。長欠と欠席者について教務上のサポートや保健関係講演会も行っていく。</p> <p>②目的を持って部活動に参加できるように内容を工夫し80%以上加入を維持する。</p> <p>③進路行事に加え、一人一人の進路への理解を深めていく面談を充実させる。また、探究活動に加え、ボランティアや校外行事に積極的に参加させ、社会体験を増やす。</p>	<p>・集団生活においてルールは必要。何もなければ崩れる。新しいことを始めるにも一人から数人、そのうち大勢に広げていくものであり、地道に継続して理解してもらうことが大切。</p> <p>・部活動の加入率が高いので、続けて欲しい。</p> <p>・真剣にやっている人が大半であり、少人数が良くないと悪く映ってしまう。メリハリを持って行動できるとよいでしょう。</p> <p>・生徒会の皆さんへ、生徒同士、様々な人がいるので、うまく付き合っていくには、嫌われないで寄り添いながら、ただし悪い事には染まらないで、根強く理解し合うよう意識し、仲間作りをしていくことが必要でしょう。</p> <p>・企業体験に来る学生を見ているが、社会体験から得るものは大きい。社会体験やボランティア等、職業につながる経験をさせてください。</p>
3	<p>【現状】コロナ禍の中、地域(宮代町、町教委、自治会、商工会)交流や異校種交流事業を行い、豊かな人間性と社会性を育成する機会を持つことができています。</p> <p>【課題】様々な手段や機会を用いて、本校の教育活動を周知するとともに、関係諸機関と連携して、開かれた学校づくりを推進する。</p>	<p>○学校内外の教育資源、地域資源を活用した交流事業、また、春日部特別支援学校宮代分校との交流を継続して行う。</p> <p>○中学生に魅力ある情報発信をし、入学希望者数の増加につなげる。</p>	<p>①小中学校との交流事業や生徒の個々の特性を生かした活動で地域参加を継続し、地域とともに成長し、地域から信頼される学校づくりを実践する。</p> <p>②HPとメール配信システム等の活用により、本校の魅力を積極的に情報発信し、家庭・地域との連携を強化する。</p>	<p>①近隣小中学校等との連携活動、地域交流や地域貢献活動等、生徒の活躍の場を開拓する。</p> <p>②HPを充実させ、一日平均2,500アクセス数を目指す。保護者メールは効果的な情報を適宜発信する。関係諸機関との連携を大切にします。</p>	<p>①部活動を中心に小学校交流、中学校との合同練習、地域ゴミ0運動や未成年喫煙・飲酒防止キャンペーン、お祭り等へのボランティア活動へ積極的に参加した。</p> <p>②HPは毎日更新し、中高連携、学年行事、部活動実績等、1日3つ以上記事がUPされている。アクセス数は約6,400と昨年の2倍以上である。また、保護者メールにて緊急連絡、事務室からの連絡が適宜適切に配信でき、連携が取れている。</p>	A	<p>①生徒会や部活動で地域とさらにつながっていく。放送部が町役場と連携し、広報活動を行った。生徒の活躍を積極的に広くPRし、自信と意欲を持たせる。</p> <p>②HP閲覧者は中学生が多いが、本校生徒にも活用するよう促し、お互いを褒め称え切磋琢磨できるよう、意欲の向上につなげる。電子掲示板を購入予定、校内活性化、来校者への情報提供等に活用していく。</p>	<p>・地域に根付いた宮代高校ということで、引き続き交流を広げていってもらいたい。</p> <p>・宮代高校と地域がもっと接点を持っていないか、と思っている。地域の行事に声を掛けますので、参加してください。</p> <p>・宮代高校の良さがまだ広がっていない。もっと外へ出てよいでしょう。</p> <p>・地域との交流の仕方については、生徒会も地域とどう付き合っていきたいか、何ができるか、考えてみてよいでしょう。</p>